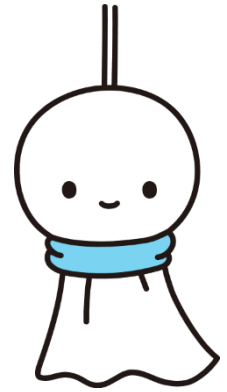


令和5年度 放課後等デイサービス関連職員研修 Day2 (6月29日)

- ① 『京都市における放課後等デイサービスの現状と今後について』
- ② 『放課後等デイサービスの社会的責任と専門職員としての倫理
～児童福祉法、ガイドライン、倫理綱領について～』



研修受講者の声 (一部抜粋紹介)

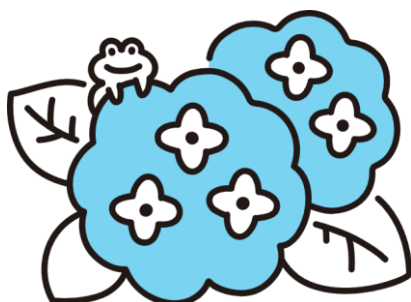
①事業所数や給付費など全市的な規模感や、歴史的流れから現在の放デイの位置付けをご説明いただいたことで自分の働く職場を取り巻く状況を知ることができました。

①ご利用者様の一日あたりの料金を聞いた時には驚きました。金額だけの問題ではありませんが、より一層、良い療育を提供しなければならないと気が引き締められました。

①一回利用してもらうと、いくら発生しているのか、1人あたりの金額については、おおよそ把握していましたが、全体の予算や、利用人数は、予想を遥かに超えていました。

①どのような事が原因で施設が行政処分になるのかなども知れて良かったです。発達支援としての相応しくない内容なども事例と共に分かりやすかったです。

①放デイに関する制度やお金の話、自分は今この子に関わることでこれだけのお金を支払ってもらっており、それだけの事が十分に出来ているか。という自身への振り返りをする機会になりました。お金のみの話ではないですが、自己研鑽を惜しまず児童やその家族に少しでも還元したいと思いました。



②どのようなルール(法律)の上で私達は働いているのか、普段はなかなか意識しないこと、でもそれを抜きには放デイ事業も語れないことに気付きました。

②職業倫理の部分では、グループワークで日頃の悩みを共有し、色んなアドバイスをもらい、勉強になりました！毎回グループワークがとても盛り上がり、時間が足りないくらいです。

②細かな役割はそれぞれだけど、子どもに関わる事業については、大切にしていることがほぼ同じなんだと再確認できたような気がします。横のつながりが強められれば、より豊かな支援になると思いました。

②職業倫理について、保育や子どもの人権の観点から考えることで、支援が支援者の都合になってないか？子どもの利益になっているのか？を考えるきっかけとなりました。苦手なことにも向き合ってもらう場面も往々にありますが、これは子どもの(将来含めて)利益になるのか？を常に考えながら支援をして行きたいと思いました。

②チェックリストは法人内で各自で確認したことはありましたが、それをシェアして、当てはまらない事でも、少しでも気になってる事を口に出し合う場が必要なんだと思いました。この子の最善の利益とは何か、保護者や支援者が考える目標設定に偏ってなかったかな、また見直してみたいです。